

大貫海浜学園の現状と課題

川口市立大貫海浜学園

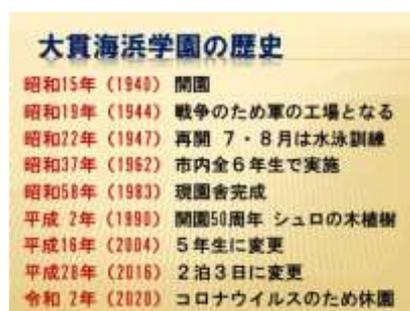
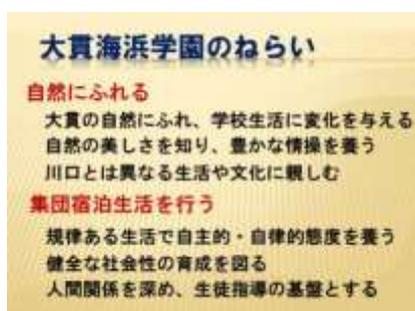
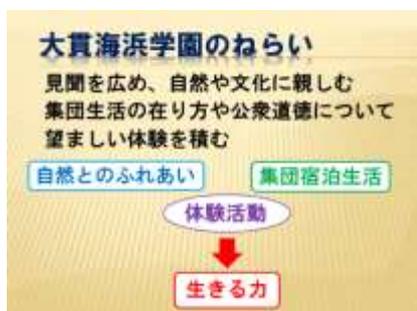
副園長 滝澤 榮 則

1 はじめに

川口市立大貫海浜学園は、昭和15年に開園し本年80周年を迎えた本市独自の校外教育施設です。毎年市内52校と特別支援学級合同の計5千人を超える小学校5年生児童が訪れ、集団宿泊を伴う各種体験活動を行っています。

本園の副園長は、長らく千葉県上総4市（富津市、君津市、木更津市、袖ヶ浦市）の学校職員が務めていましたが、平成29年度から川口市職員のポストとなりました。私は副園長として8代目、本園勤務4年目です。

2 ねらい、歴史



3 概要

大貫海浜学園の概要

敷地 13,356.19㎡ (4,047坪)
建物 宿泊棟2階建 延3,970.04㎡ (1,203坪)
内部 児童宿泊室42 教員宿泊室4 食堂
体育室 大教室 浴室 ロッカー室 等
職員 副園長 指導員 管理人2人(昼・夜)
調理員7人 計11人
対象 川口市52校と特別支援学級合同の5年生
約5400人(引率者含む)
期間 5月中旬から11月中旬(7・8月実施なし)
費用 2,480円(食材費 平成24年より) 他市費

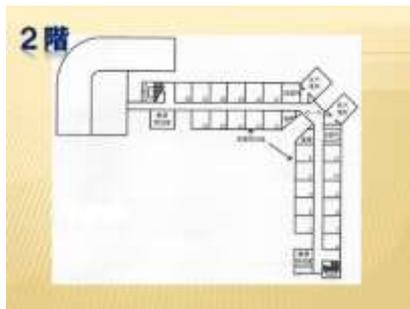
費用は、平成23年までは3泊4日の米代として635円のみ徴収していました。

右は、昭和57年まで使われていた懐かしい建物です。



4 施設の様子





1階は管理棟、宿泊棟、浴室棟に分かれています。

宿泊棟は、1・2階とも中央のホールから全体を見渡せるつくりになっています。



児童宿泊室は1・2階合わせて42室あります。各室10畳敷きで定員は5人です。

入るとまず避難経路を確認します。1日目午後には避難訓練が行われます。



体育室・大教室は学校単位で活動を行うのに適しています。

2日目の夜は、各校ともここでキャンドルファイヤーを行います。



浴室は20人が一度に入れる広さです。
大型のボイラーが設置されています。



歴代の校長先生の力作が展示されています。
左：平野忠男先生（絵画・大貫海岸）
右：上原一良先生（写真・浦賀水道と富士山）



2階には屋上が設置され、海や星空を眺めることができます。



宿泊棟の上からの景色です。
園庭の向こうには浦賀水道の青い海が広がっています。
園庭は広く、芝生が植えられ思い切り活動ができます。



昭和59年7月29日、金子明校長先生は、潮に流された児童数人を救い不幸にもそのまま帰らぬ方となりました。
殉職碑が園庭の海側に建立されています。
児童はここを訪れ、校長先生から当時の話を聞き、ご冥福をお祈りするとともに自らの安全を誓います。
いつの日からか、児童は拾った貝殻を並べるようになりました。



裏門の50メートル先はもう海です。対岸は神奈川県三浦半島の横須賀市です。

晴れた日には、海の向こうに富士山の姿が望めます。

5 食事



食事は3日間の健康の源であり、栄養価のある大貫ならではの美味しいメニューを提供しています。

はかりめ（あなご）ご飯やアジフライ、肉うどんなどは好評で、児童はよく食べています。煮魚（アコウダイ）はやや苦手な児童が多いのですが、残菜は概して少ない状況です。

食物アレルギー対応については万全の体制を敷き、事故のないよう最善の注意を払っています。



昼食は、業者発注のおにぎり弁当です。

右は、3泊4日の時代、最終日の昼に食べていた肉めしです。今年度休園のため機器メンテナンスで一度限り復活しました。

食べたのは職員のみです。

6 活動の様子

海浜学園の日程 - 1日目

8:00	学校出発
11:00	学園到着 入園式
12:00	昼食
13:00	避難訓練 園内見学
13:30	海岸での活動
15:30	入浴
17:30	夕食 夕礼
19:00	2校交流会 星空観察 はがき書き
21:00	消灯

海浜学園の日程 - 2日目

6:00	起床 朝礼 清掃
8:00	朝食
9:30	ハイキング出発
11:00	東京湾観音到着 昼食
14:30	学園到着 休憩
15:00	入浴
17:00	夕食 夕礼
19:00	キャンドルファイヤー
21:00	消灯

海浜学園の日程 - 3日目

6:00	起床 朝礼 荷物整理
8:00	朝食
9:00	荷物移動 大掃除
10:00	海岸散歩 貝ひろい
11:30	昼食
12:30	退園式
13:00	学園出発
15:30	学校到着
16:00	帰宅



本学園では2校合同の日程になることが多いため、1日目の夜に多くの学校が交流会を行っています。

校長先生の写真が飾られています。

左：佐藤英次先生

中：清水健治先生（現職）

右：佐藤利幸先生





左：渡邊秀人先生

右は2日目夜のキャンドルファイヤーの様子です。炎を見つめながら皆で静かな時間を過ごします。



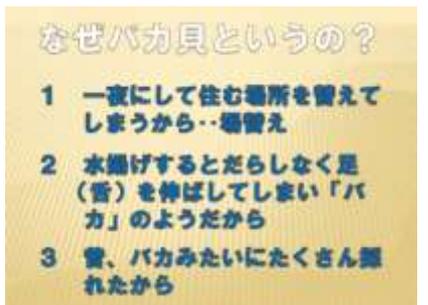
3日間生活した学園に感謝を込め、元気に退園していきます。

7 児童向けプレゼンテーション (抜粋)





正解：1



正解：1・2・3

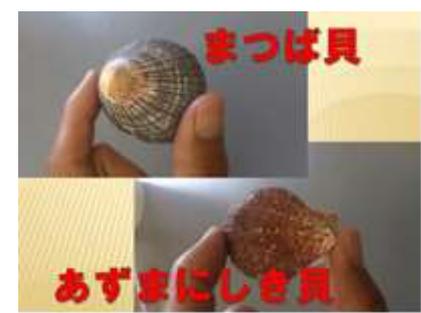
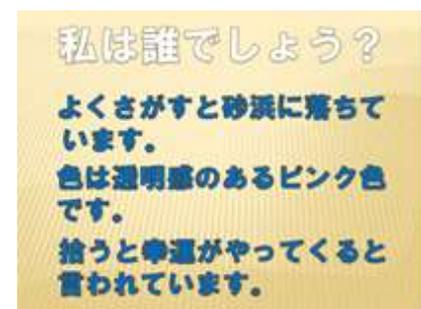




正解：3



棒ばかりの目盛りとあなごの背の模様が似ていることから、「はかり」の「め」→「はかりめ」と呼ばれています。



8 成果と課題

成果

運営・児童管理
2泊3日、7・8月未実施となり、学校の負担や児童の暑さへの負担が軽減された。
食物アレルギー対応が徹底できた。

学習活動
1日目午後の海での活動が増えた。
東京湾観音へのハイキングやキャンドルファイヤーなど、日程の統一が図られた。

成果

施設管理
冷風機や空調機（食堂）を設置し、涼しい環境が実現できている。
必要箇所の計画的な修繕ができた。

成果は、児童が大貫の自然に触れ、集団宿泊を通じた様々な体験活動を行うことで、人間性の伸長が見られることです。

準備段階からの各学校の校長先生をはじめとした先生方の努力の賜物です。

今後の課題

運営・児童管理
新型コロナウイルスに対応した学園運営
喫食時間の増加と残菜をなくす取組
食物アレルギー対応のより確実な取組

学習活動
海岸での活動の充実
自然を生かした日程の再考（3日目の活動）
ハイキングコースの再考（登山道の危険性）

今後の課題

施設管理
大型台風への備え
施設の環境整備（空調化）
計画的な大規模修繕と改築計画

喫緊の課題は、新型コロナウイルスへの対応に尽きます。今年度は、戦後初めての全面休園となってしまいました。

施設の使用や活動の工夫を通して、再開できるよう努めます。

また、施設・設備の適切な管理も課題です。今後も予算を効果的に使い、

市教委担当課や地元業者と連携を図りながら各所の改修・修繕を実施していきます。

そして、間違っても施設・設備の瑕疵による事故を起こすことのないようにします。

9 終わりに

終わりに

開園80年

広い敷地、海岸沿いという立地条件の良さ
川口市児童の健全な発達・成長に貢献
なくてはならない集団体験活動の場

↓

学園の将来像

大貫海浜学園は、広い敷地をもち海岸沿いという立地条件の良さを備えた本市独自の施設であり、他市にも誇れるものです。

昭和15年の開園以来長い歴史を有し、本学園は川口市児童の健全な発達・成長に多大な貢献をしてきました。

本園は今年、開園80周年の節目の年を迎えました。各小学校・保護者・川口市・地元富津市の関係の方々、そして、永年尽力された堺清氏をはじめとする学園関係者に心から感謝申し上げます。

川口市民の多くが小学生の時に自ら宿泊体験を行い、長きにわたり市民から愛されてきた学園は、これからも川口市の児童にとってなくてはならない集団体験活動の場であると考えます。

しかしながら現施設も37年を経過し、適正な管理・修繕に努めていますが、いつまで現在の状態を保持できるかについては不安が残ります。

学園の将来を考えたとき、施設・設備はもちろんのことですが、学園の在り方自体をどのようにしていくべきなのか、これは大きな課題ですが、現在の施設が使用できなくなる時期を視越したうえで、議論を進めていくことが肝要であると考えます。

この発表の機会をいただきありがとうございました。

